

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

PAT-NO: JP02003265254A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003265254 A

TITLE: PIECE OF INDOOR FURNITURE AND BUILDING IN WHICH  
IT IS  
FIXED

PUBN-DATE: September 24, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NONAKA, HIDEKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ADHOC CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2002075783

APPL-DATE: March 19, 2002

INT-CL (IPC): A47B087/02, A01K029/00 , A47B097/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a piece of indoor furniture which can be changed in its shape easily as well as it can be used as a piece of furniture having a single function and to provide a building in which it is fixed.

SOLUTION: The piece of furniture comprises a boxy lower container 2 and a boxy upper container 3 fixed on it. The upper container 3 is a separable unit 15 (a fixed unit 151 and a movable unit 152) which can be divided in three stairs and removed.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

(11)特許出願公開番号

特開2003-265254

(P2003-265254A)

(43)公開日 平成15年9月24日(2003.9.24)

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	テマコード(参考)
A 4 7 B 87/02		A 4 7 B 87/02	3 B 0 6 0
A 0 1 K 29/00		A 0 1 K 29/00	
A 4 7 B 97/00		A 4 7 B 97/00	A J
		審査請求 未請求 請求項の数4	OL (全 7 頁)

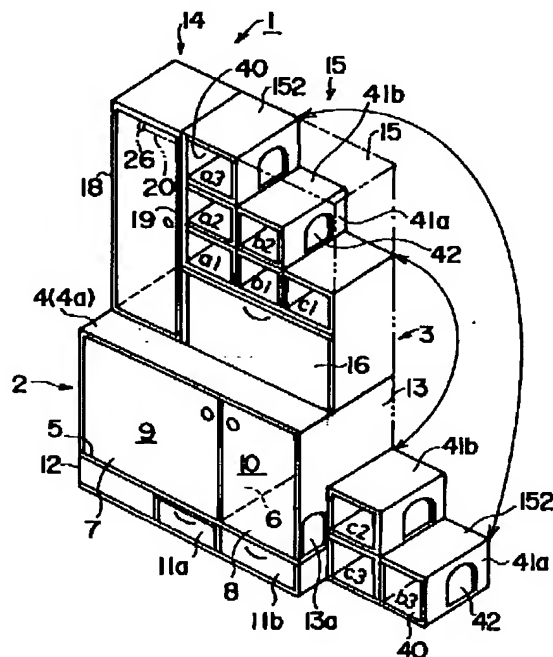
(21)出願番号	特願2002-75783(P2002-75783)	(71)出願人	596088646 アドホック株式会社 埼玉県越谷市越ヶ谷1丁目7番20号
(22)出願日	平成14年3月19日(2002.3.19)	(72)発明者	野中 英樹 埼玉県越谷市越ヶ谷1丁目7番20号 アド ホック株式会社内
		(74)代理人	100082670 弁理士 西脇 民雄 (外1名) Fターム(参考) 3B06D BA01 BB01 BB04 BC01 BD01 BD02 BE02 BF01

(54) 【発明の名称】 室内家具及びその家具を固定した建物

(57) 【要約】

【課題】 単一の機能を備えた家具に加え、種々の変形が簡易に行える室内家具及びその家具を固定した建物を提供すること。

【解決手段】 箱形の下部収納部２及びその上に配置されて固定される箱形の上部収納部３から構成されている。上部収納部３階段状に分割して取り外し可能な分割ユニット１５（固定ユニット１５１及び移動ユニット１５２）である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 箱形の下部収納部及びその上に配置されて固定される箱形の上部収納部から構成され、前記上部収納部は階段状に分割して取り外し可能な分割ユニットであることを特徴とする室内家具。

【請求項2】 前記上部収納部は、階段状に取り外した際に露出する側壁に猫が出入り可能な開口を備えていることを特徴とする請求項1記載の室内家具。

【請求項3】 前記下部収納部は、左右に分割可能な可動仕切り板により左右に分割された収納部を備え、ともに前記可動仕切り板の位置に応じて前面に向けて開閉可能な扉を備え、一方の収納部には、重量物収納用の補強がなされていることを特徴とする請求項1又は2記載の室内家具。

【請求項4】 請求項1～3の何れかに記載の室内家具が居室内に配置されて固定されたことを特徴とする建物。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、猫の遊び場としてのキャットリビングとして変形可能な室内家具及びその家具を固定した建物に関する。

## 【0002】

【従来の技術】少子・高齢化、核家族化、単身世帯の増加等、従来の「家族」のあり方や形態が変化しつつある今日、「パートナー」としてペット（愛玩動物）を飼う人が増加しつつある。このような観点から、ペットと人とが共生することを前提とした住宅についての種々の提案がなされている。

【0003】例えば、本出願人に係る特許2983467号では、ペットが届かない高い位置に電気コンセントを配設することによりペットが共生しても安全性が確保できる建物用壁面構造が提案されている。また、同様に本出願人に係る特許2954937号では、下方に通気小窓を設けることによりペットが快適に過ごせる居室を提供できる戸及びそれを有した住宅が提案されている。また、本出願人に係る特許2967084号では、ペットの飛び出しを防止できる通風性の玄関ドア構造及びそれに用いるドアセットが提案されている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、衣食住のために用いる道具類としての箆笥、机などの家具は歴史的に見ても種々の観点から改良がなされ、種々提案されている。しかしながら、それらの家具の多くは人間生活を前提としたものである。また、ペットに着眼した玩具等の小物も種々提案されているが、ペットと人とが共生することを前提とした家具についての提案は少ない。このような状況下で、人はそれを不便とも感じずに現実的に入手可能な家具製品の中から自分の目的にあった家具を選択して満足しているのが現状である。

【0005】総理府の調査によれば、全国で三割以上の

世帯がペットを飼っており、その割合は大都市になればなるほど増加傾向にあるという。また、大都市ではマンションと称される集合住宅が増えつつある。

【0006】このような環境下で、出願人は、人がペットと共生するための住環境を高揚するための各種家具及びそれらの家具を配置した建物について既に多数提案している（例えば、特願2002-60565号、特願2002-60566号等）。

【0007】ここで、従来はペットを飼養することを禁止している場合が多かった賃貸住宅や分譲住宅などの集合住宅でも、近年、ペットの使用を条件付きではあるが許容する集合住宅が急激に増えつつある。

【0008】特に、賃借人の賃借期間の短い賃貸住宅などにおいて、建物に、ペット専用の家具を配置する場合、賃借人が異なる毎に家具を入れ替えたり、備え付け家具の撤去をするのは必ずしも効率的ではない。

【0009】そこで、本発明は、単一の機能を備えた家具に加え、種々の変形が簡易に行える室内家具及びその家具を固定した建物を提供することを目的とする。

## 【0010】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、箱形の下部収納部及びその上に配置されて固定される箱形の上部収納部から構成され、前記上部収納部は階段状に分割して取り外し可能な分割ユニットであることを特徴とする室内家具である。

【0011】ここで下部収納部とは、概略ドアノブよりも低い位置に主として位置する収納部を意味する。これにより、クローゼットはこの下部収納部の上に設けられるので、概略ドアノブの位置よりも高い位置に配置される。この下部収納部の下に別の収納部、例えば、床面に5～30cm程度の引出などの床上収納部が備けられていてもよい。

【0012】また、階段状とは、猫がジャンプして容易に飛び移れる程度であれば、階段の高さは高くても低くてもよい。また、各階段の高さは一様であっても不規則であってもよい。

【0013】このように構成すれば、分割ユニットを分割して形成された階段部は、猫の遊び場又は猫専用の居間等としてのキャットリビング等として利用可能である。

【0014】また、この階段部の材質は限定されない。例えば、パーティクルボードなどを使用すれば、猫が滑ることがない。また、この階段部の材質・構造などを選定することによりこの階段部の強度を強固にすれば、人間が利用する踏み台として利用することもできる。

【0015】請求項2記載の発明は、前記上部収納部は、階段状に取り外した際に露出する側壁に猫が出入り可能な開口を備えていることを特徴とする請求項1記載の室内家具である。

【0016】このように構成すれば、請求項1記載の作

用効果に加え、分割ユニットを階段状に取り外した状態で、開口から上部収納部の内部に猫が進入することが可能となり、猫はこの上部収納部内を遊び場としたり寝室とすることができる。

【0017】請求項3記載の発明は、前記下部収納部は、左右に分割可能な可動仕切り板により左右に分割された収納部を備え、とともに前記可動仕切り板の位置に応じて前面に向けて開閉可能な扉を備え、一方の収納部には重量物収納用の補強がなされていることを特徴とする請求項1又は2記載の室内家具である。

【0018】このように構成すれば、請求項1又は2記載の作用効果に加え、下部収納部には重量が重い小型冷蔵庫等の重量物を収納することにより、上部収納部をキャットリビング等として利用しても、猫の運動により室内家具が傾くことがない。

【0019】請求項4記載の発明は、請求項1～3の何れかに記載の室内家具が居室内に配置されて固定されたことを特徴とする建物である。

【0020】このように構成すれば、分割ユニットを分割して形成された階段部は、猫の遊び場としてのキャットリビングとして利用可能である。また、この階段部を強固に構成すれば、取り外した分割ユニットは踏み台として利用することもできる。

【0021】これにより、単一の機能を備えた家具に加え、種々の変形が簡易に行える室内家具及びその家具を固定した建物を提供することができる。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態に係る室内家具につき図面を参照しつつ説明する。ここで、図1～図3は、本発明の実施の形態に係る室内家具1を説明する斜視図であり、図4は変形例に係る室内家具1の使用状態の一例を説明する斜視図である。

【0023】これらの図において、室内家具1は、箱形の奥行きが深い（例えば70cm）下部収納部2と下部収納部2に比べて奥行きが浅い（例えば45cm）箱形の上部収納部3とから大略構成され、下部収納部2の上には背板が略面一とされて上部収納部3が配置されて固定されている。これにより、下部収納部2の下部天板4の一部（前側部4a）は露出している。

【0024】下部収納部2は、下部底板5により上下に仕切られるとともに、下部底板5と下部天板4との間に可動仕切り板6が側板13又は36に平行に配置されている。この可動仕切り板6から左右前面に向けて観音開きにより開閉可能な一対の開き扉7、8が設けられている。

【0025】開き扉7の内部には小型冷蔵庫（不図示）などの重量物が収納可能な重量物収納部9が設けられている。この重量物収納部9の側板36の略中央には、水飲みボトルを取り付けるためのフック37が固定されている。

【0026】重量物収納部9に小型冷蔵庫を収納する場合には、背板等から電源ケーブル挿通用の開口を設けたり、又は電源コンセントを重量物収納部9の内部に設置する。また、排熱等のために背板に換気口やガラリを設け、背板と建物壁面との間に隙間を発生させるためにスベサをかませて背面に放熱空間を設けてもよい。これにより、扉7を開閉することにより内部の小型冷蔵庫の使用が可能となる。もちろん、この扉7は、小型冷蔵庫の扉と連動して開閉可能としてもよい。

10 【0027】開き扉8の内部には箱形の収納部10が設けられている。この収納部10には、例えば、ペット用の雑誌などの収納ホルダー、収納ラックなどの収納ボックス（不図示）を取り出し自由に収納する。

【0028】また、この収納部10の側板13の前方に、猫の出入り口13aを設ければ、この収納部10は猫小屋として利用できる。この場合の正面の開き扉8は猫小屋10内の清掃に用いられる。

20 【0029】また、固定底板5の下方の前面には、前後に進退可能（前面から引き出し可能）な小物入れ用の引出（引出部材）11（11a、11b）が設けられ、その左側面には、背面と平行に進退可能（両側面から引き出し可能）な引出12が設けられている。

【0030】引出11には適宜な小物が収納され、収納部10を猫小屋として利用する場合には引出11bには猫の道具、玩具（例えば、爪研ぎ）を収納する。

30 【0031】左側面の引出12はステンレス製のトレイ部を備えており、引き出した状態で鉛直方向上方から滴下する滴をトレイ部に受けることができる。ここで、このトレイ部は引出12と一体でも、取り外しが可能であってもよい。

【0032】また、上部収納部3は、重量物収納部9の上側に配置されて前面が開放された箱形のクローゼット14と、そのクローゼット14に隣接して配置された分割ユニット15とから大略構成される。この分割ユニット15は分割されて形成された階段部をキャットリビング等として利用可能なものであり、その詳細は後述される。

40 【0033】分割ユニット15の下方には前面に向かって回動して開くことが可能な棚（例えば、ライティング棚）16が設けられている。この棚16の材質は限定されないが、耐傷性の優れた材料で有れば、食器を配膳する台として利用しても、陶器の底ですれて傷つくことがない。

50 【0034】この棚16の奥行きは、例えば45cmであり、引き出された状態で水平に維持され、棚16の奥には電源コンセントなどが装備されたり、適宜の位置に照明が付帯されていてもよい。また、クローゼット14は前面が開放された縦長の箱形であるが、前面に開き扉などを備えてもよく、また、愛玩動物用であるので奥行きは狭いが、必ずしもこの奥行きに拘らずに、通常の奥

行き（例えば60～75cm）であってもよい。

【0035】このクローゼット14に側板18から突出して両側板18、19に跨ってステンレス製のハンガー部材17が固定されている。このハンガー部材17は、両側板18、19に跨ってクローゼット14内で吊パイプとして機能する外筒（固定アーム）20と、その固定アーム20の内側に進退自在に収納される伸縮アーム（内筒）21とから大略構成される。この伸縮アーム21は引き出された状態でクローゼット14の側板18の外側に進出してハンガーを吊り下げる吊パイプとして機能し、その先端には引き出された伸縮アーム21に吊り下げられたハンガーが落ちないようなストッパーを兼用した化粧部材22が固定されている。

【0036】このハンガー部材17を側板18、19に固定するには、例えば、図5に示すように、外側に位置する側板18の所定位置に貫通孔23を設け、この貫通孔23から固定アーム20の末端24を挿通して固定すればよい。

【0037】すなわち、貫通孔23の内側及び側板19の所定位置に固定アーム保持用のパイプ保持部材25、26を固定し、中央に配置される側板19に末端24が当接するまで固定アームの末端24を貫通孔23から挿通し、パイプ保持部材25、26により固定アーム20の両端（末端24及び伸縮端28）を保持する。ついで、この状態で、側板18の外側から適宜の固定具27を用いて伸縮端28が貫通孔23から飛び出さないように固定する。

【0038】ここで、この固定具27としては、例えば、図6に示すように、管状保持部29を備えた側板保持部材30と、この側板保持部材30の外側から固定アーム20の伸縮端28を押さえる押さえ部材31とから大略構成されている。

【0039】この管状保持部29は、貫通孔23内に保持された状態で、内部に固定アーム20を挿通保持することができる。また、側板保持部材30は、管状保持部29の一端に複数のネジを挿通するための挿通孔32を備えたフランジ部33を備えている。押さえ部材31はこの挿通孔32に対応する位置に穿設された挿通孔34を備えた略平板状の環状部材（又はフランジ状の部材など）であり、中央には伸縮アーム21は挿通するが固定アーム20は挿通できない開口35を備えている。

【0040】次に分割ユニット15の詳細について説明する。

【0041】この発明の実施の形態では、この分割ユニット15は、長方形の箱体の前面に開口40を有する多数の箱形のユニット（9個の箱形ユニットa1～a3、b1～b3、c1～c3）から構成されている。

【0042】また、この分割ユニットは、固定ユニット151と移動ユニット152との二つに分割可能である。

【0043】図1～図3に示す室内家具1では、この固定ユニット151は、6個の箱形ユニットa1～a3、b1、b2、c1が一体に形成されたものであり、移動ユニット152は、残りの3個の箱形ユニットc2、c3、b3が一体に形成されたものである。

【0044】また、図4に示す変形例の室内家具では、固定ユニット151は、3個の箱形ユニットa1、a2、b1が一体に形成されたものであり、移動ユニット152は、残りの6個の箱形ユニットc1～c3、b2、b3、a3が一体に形成されたものである。

【0045】固定ユニット151と移動ユニット152との接合部の側壁41aには猫の出入り口用の開口42が設けられている。なお、この開口42は、移動ユニット152を取り外した状態で利用可能で有れば、図1又は図2に示すように、移動ユニット152が取り付けられた状態では、化粧紙、布などにより、その開口42は塞がれて外部から視認できないように構成されていてもよい。また、固定ユニット151と移動ユニット152との接合部の天板（又は底板）41bはパーティクルボードなどの猫が滑りにくい材質で造られている。

【0046】ここで、固定ユニット151は、通常の室内家具と同様に下部収納部2と一体又は分割可能に固定されている。また、移動ユニット152は、この固定ユニット151に取り外し・組付けが簡易に固定されている。この場合の固定構造は問わないが、例えば、図7に示すように、側板41aの厚みの略2倍の幅の凹部43aを備えた固定具43を用意し、この固定具43を用いて、隣接する各ユニットの側板41a、41aを銜合させた状態でこの固定具43を嵌合させて固定する。

【0047】これにより、この固定具43を取り外せば移動ユニット152は固定ユニット151との固定が解除されて移動可能となり、図3、図4に示すように、移動ユニット152を室内家具1の横に並べると、移動ユニット152、固定ユニット151、下部収納部2は階段状に並べることができる。

【0048】この場合、取り外した固定具43は移動ユニット152と下部収納部2との固定に用いることができる。例えば、図7に示すように、猫の出入り口13aに面した側板13と、開口40に面した側板41aとを銜合させて固定具43を嵌合させて固定してもよい。

【0049】以上のように構成された室内家具1は次の作用・効果を有する。

【0050】移動ユニット152を固定ユニット151に固定した状態では、この分割ユニット15は、各箱形ユニットa1～c3が箱形の棚又はボックスとして使用できる。

【0051】ここで、移動ユニット152を図3又は図4に示すように取り外して、側板13に並べることにより、露出した天板41bにより、階段部が形成され、この階段部は、猫の遊び場又は猫専用の居間等としての

キャットリビング等として利用可能である。

【0052】また、この天板41bはパーティクルボードなどの猫が滑り難い材質で構成されているので、猫が快適に利用できる。

【0053】なお、この階段部の材質・構造などを選定することによりこの階段部の強度を強固にすれば、移動ユニット152は人間が利用する踏み台として利用することもできる。

【0054】また、移動ユニット152を取り外した状態で、側壁41aに開口42が形成され、この開口42は猫の出入り口として利用されて、各箱形ユニットは猫小屋として利用可能である。

【0055】また、重量物収納部9に小型冷蔵庫などの重量物を収納することにより室内家具1が安定するので、室内家具1を猫が安心してリビング又は寝室等として利用することができる。

【0056】また、フック39に水飲みボトル等を吊り下げた場合に引出12が引き出されていれば愛玩動物が水を飲んでも、滴がこの引出12内に落下する。この引出12をトレー状とすれば、ペットが餌を食べるときのお盆として機能させることもできる。この場合には、トレー部は取り外して容易に洗うことが可能な構造とするのがよく、また、トレー部はステンレス製やセラミック製などのように耐久性を持たせるのがよい。

【0057】また、伸縮アーム21を引き出して伸縮アーム21にハンガーなどを用いて衣類等を吊り下げることができる。この場合、衣類が濡れていても、引出12が引き出されていれば、滴がこの引出12内に落下する。

【0058】また、このような室内家具1では、伸縮アーム21が不要の場合には、伸縮アーム21は固定アーム20内の空腔に収納できるので、吊パイプを引き出さずに収納した状態での見栄えがよい。これにより、固定アーム20はクローゼット14内で衣類などを掛けるハンガー掛け用の吊パイプとして利用できると共に、伸縮アーム21の収納部としても利用できる。

【0059】また、クローゼット14に対して伸縮アーム21の引出方向と反対側に位置する側板19には分割ユニット15が配置されて固定されていたり、また、下部収納部に重量物が収納されることにより、クローゼット14から伸縮アーム21を引き出した状態で衣類等を吊り下げても、衣類等の重さでクローゼット14が傾くことがない。

【0060】また、このような室内家具1では、伸縮アーム21及び滴受け部材としての引出12の引き出し方向がクローゼット14の背板の面と平行であることにより、伸縮アーム21及び引出12が居室内の中央に突出することがないので、濡れた衣類等が乾燥する等して長時間を伸縮アーム21及び引出12を引き出した状態で放置しても邪魔にはならない。

【0061】以上、この発明の実施の形態を図面により詳述してきたが、具体的な構成はこの実施の形態1に限らず、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があってもこの発明に含まれる。

【0062】例えば、室内家具1は居室内で移動可能な独立した家具であったが、集合住宅や一戸建てなどの建物内の適宜位置に固定された組み込み式の家具であってもよい。この場合にも、移動ユニット152は取り外しが簡易にできるように構成されている。

10 【0063】このような室内家具は、居室に限らず玄関や集合住宅の共用スペースに設置することもできる。

【0064】また、建物壁体又は天井面、床面などを利用して転倒防止又は移動防止のために必要な固定がなされていてもよい。

【0065】また、下部収納部は、可動仕切板6により分割可能であったがこの可動仕切板6は無くてもよく、また、同様に下部収納部に洗面、流し等を設けてもよい。

【0066】

20 【発明の効果】以上説明したように、本発明に従えば、特別の保管場所を確保することなく、建物内に濡れた衣類を保管できる室内家具を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る室内家具の左側面側より見た斜視図である。

【図2】図1の室内家具の右側面側より見た斜視図である。

【図3】図2の室内家具の移動ユニットを取り外した使用状態の一例を説明する斜視図である。

30 【図4】本発明の変形例に係る室内家具の使用状態の一例を説明する斜視図である。

【図5】ハンガー部材17の取付固定の状態を説明するための説明図である。

【図6】固定具27の取付状態を説明するための分解説明図である。

【図7】本発明の実施の形態に係る分割ユニットの固定方法の一例を説明する部分斜視図である。

【符号の説明】

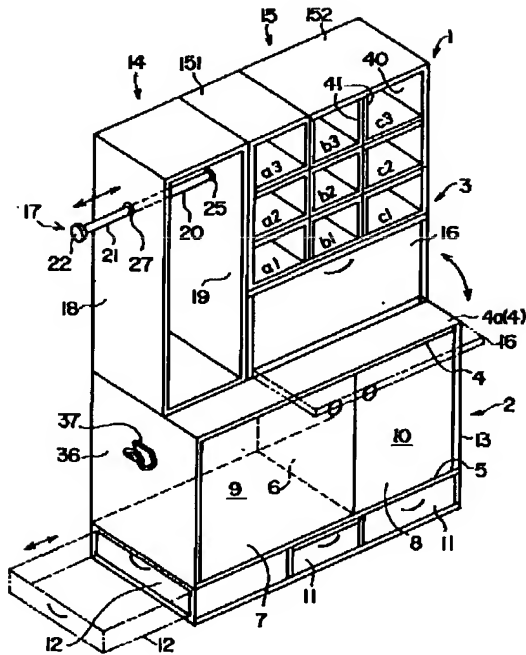
- 1：室内家具
- 2：下部収納部
- 3：上部収納部
- 4：下部天板
- 5：下部底板
- 6：可動仕切り板
- 7、8：開き扉
- 9：小型冷蔵庫収納部（重量物収納部）
- 10：猫小屋（収納部）
- 11（11a、11b）：引出
- 12：引出（滴受け部材）
- 50 13：側板



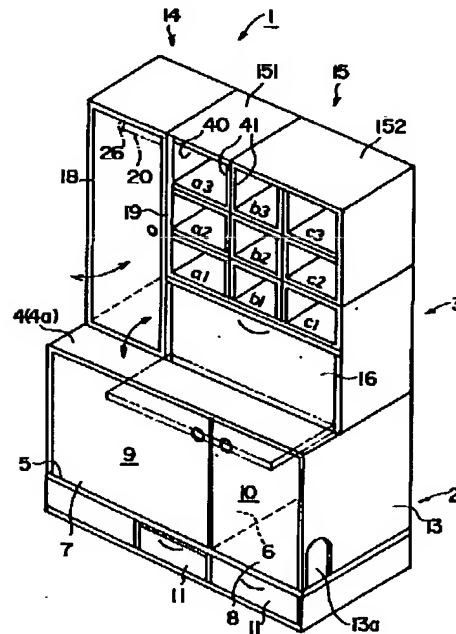
13a: 猫の出入り口  
 14: クローゼット  
 15: 分割ユニット  
 151: 固定ユニット  
 152: 移動ユニット  
 16: 棚  
 17: ハンガー部材  
 18: 側板  
 19: 側板  
 20: 固定アーム  
 21: 伸縮アーム  
 22: 化粧部材  
 23: 貫通孔  
 24: 末端  
 25: パイプ保持部材  
 26: パイプ保持部材  
 27: 固定具

28: 伸縮端  
 29: 管状保持部  
 30: 側板保持部材  
 31: 押さえ部材  
 32: 挿通孔  
 33: フランジ部  
 34: 挿通孔  
 35: 開口  
 36: 側板  
 37: フック  
 38: 水飲みボトル  
 39: リードフック掛け  
 40: 開口  
 41a: 側壁(側板)  
 41b: 天板(底板)  
 42: 開口

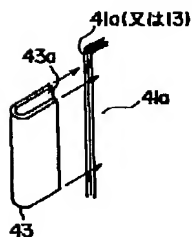
【図1】



【図2】



【図7】



【図6】

